

**墨田区議会 Liberal Democratic Party**  
**自由民主党・令和だより** 2020 7 July

■発行／墨田区議会自由民主党・令和（墨田区吾妻橋1-23-20）  
 ■発行責任者／しもむら 緑 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック！ <http://jimin-sumida.jp/>

新型コロナウイルスに罹患した方へお見舞い申し上げます、ご快復を心よりお祈り申し上げます。  
 お亡くなられた皆様におかれましては、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

またこの困難の中、社会生活の維持に必要な職業に従事してくださっている方々に、  
 心から敬意を表し感謝の念を申し上げます。本当にありがとうございます。

自由民主党・令和では、新型コロナウイルス対策に全力を投じつつ、  
 これまでの区政に関する課題にも取り組んでいます。

■ 区長に対し、緊急要望を提出しました

1. 感染症に対応するため、医療専門職へのニーズに沿った多様な防護具の備蓄を行うこと。
2. 感染症予防のため、介護・福祉作業所等まで行き渡る十分な衛生資機材の備蓄及び意向把握の体制整備を行うこと。
3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努める医療機関等への環境整備費用の補助を行うこと。
4. PCR検査の拡充等、より一層の効果的な検査体制の確立を行うこと。
5. 医療専門職間で連携が図れるオンラインシステムの構築を行うこと。
6. 新型コロナウイルスの影響により売上げが減少した区内小売業等の支援のため、区商店街振興組合によるプレミアム付商品券の発行に対する助成を行うこと。
7. 保育料返還の対象となっていない認可外保育施設の保育料減免や返還等の支援を行うこと。

議長就任挨拶

新体制となりました

幹事長就任挨拶



墨田区議会議長  
樋口敏郎

皆様のご推挙により、第72代議長に選出いただきました。誠に光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。  
 墨田区議会では、昨年より通年議会を開始し、緊急時に即応することのできる体制を整備しました。こうした中、新型コロナウイルス対策として、特別定額給付金(10万円)の支給や保育料の返還、商店街支援、児童・生徒へのタブレット配布等の予算を含む約292億円について、迅速に可決したところです。

議会改革度調査2019ランキング(早稲田大学調べ)では、全国1433議会の中で、29位(23区1位)となりました(詳細4面)。区民の声を実現できる区議会づくりに全力で邁進する覚悟です。ご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

平素より、墨田区議会自由民主党・令和の活動に対し、格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、令和二年度の幹事長に就任しました。

さて、現在、私たちは、新型コロナウイルス感染症の第2波や、感染症ウイルスと共存していくことを見据えて、PCR検査の拡充等や、感染防止に向けた環境整備費用、医療専門職へのニーズに沿った多様な防護具備蓄、緊急経済対策支援、子ども達の学習権の保障が守られる施策についてなどを政策提案し、皆様の安心と安全が図られるよう全力で取り組んでいるところです。

皆様におかれましては、くれぐれも健康にご留意いただき、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



墨田区議会  
自由民主党・令和 幹事長  
しもむら 緑

副議長就任挨拶



墨田区議会副議長  
佐藤 篤

皆様の温かいご推挙により、第71代副議長に選出いただきました。新型コロナウイルスの流行により、議会も緊急時対応が必要となりました。議会がどんな時も区民生活をしっかりと守ることができるよう、オンライン議会の実施等、ウィズ・コロナ時代に備えた体制整備に向けて努力する覚悟です。ご支援、ご協力をよろしく願い申し上げます。

墨田区議会自由民主党・令和新執行部



副幹事長 坂井ひであき  
副幹事長 坂井ユカコ  
副幹事長 木内清  
幹事長 しもむら 緑

議会改革度全国29位に

この6月、議会改革度調査ランキング(早稲田大学マニフェスト研究所)が発表され、墨田区議会は、全国1433会の中で、全国29位(東京都内3位、23区内1位)となりました。特に住民との情報共有が評価され、全国9位という結果となりました。この間、墨田区議会では、本会議及び委員会の同時・録画中継をはじめ、委員会資料のホームページ掲載や、政務活動費領収証のホームページでの公開を進めてきました。住民参画及び機能強化に課題があると指摘されていますので、これに甘んじることなく、今後とも、区民意見の反映や区役所への監視機能の強化など不断の議会改革に取り組んでいきます。

田中議員・樋口議員が  
表彰を受けました



樋口敏郎 議員  
墨田区地域自治振興功労(特別表彰)

田中邦友 議員  
全国市議会議長会表彰(正副議長4年以上)



樋口敏郎  
活力と笑顔の  
あふれるまち「すみだ」

- 墨田区議会議長
- 区民福祉委員会
- ひきこもり対策特別委員会

墨田区八広 3-6-3  
090-6043-3869



沖山 仁  
夢を求めて、生きる  
事の楽しさを!

- 企画総務委員会 委員長
- 災害対策特別委員会

墨田区京島 1-52-11  
03-3617-6558



田中邦友  
夢と希望の持てる  
墨田区を次の世代へ!

- 区民福祉委員会
- ひきこもり対策特別委員会

墨田区八広 1-39-17  
03-3616-7014



木内清  
清心・実行・実績  
「清心動」

- 副幹事長・議会運営委員会
- 子ども文教委員会 委員長
- 町会・自治会振興特別委員会
- 議会改革特別委員会

墨田区亀沢 2-12-3-501 霜鳥ビル  
090-3060-8434



しもむら 緑  
皆様の安全と、教育に  
力を入れていきます!

- 幹事長・議会運営委員会 委員長
- 企画総務委員会
- 町会・自治会振興特別委員会

墨田区亀沢 4-22-8-608  
080-2443-0212



佐藤 篤  
自己実現できる  
墨田区へ

- 墨田区議会副議長
- 子ども文教委員会
- 町会・自治会振興特別委員会
- 議会改革特別委員会

墨田区京島 3-18-4  
090-8567-8293



加藤 拓  
今期もよろしく  
お願いします。

- 政務調査部会長
- 地域産業都市委員会
- 災害対策特別委員会
- 議会改革特別委員会 委員長

墨田区緑 1-2-12-501  
090-8510-6489



福田 はるみ  
スマイルすみだ  
笑う門に福、春来る

- 広報部会長
- 子ども文教委員会
- 町会・自治会振興特別委員会 委員長

墨田区立花 3-2-6-302  
03-3618-6125



藤崎 こうさき  
やる気・元気・  
藤崎こうさき

- 企画総務委員会
- 町会・自治会振興特別委員会

墨田区向島 5-42-3  
03-3623-0010



たきざわ 正宣  
人にやさしい街  
墨田へ

- 地域産業都市委員会
- 災害対策特別委員会 副委員長
- 議会改革特別委員会

墨田区墨田 5-34-11  
03-5247-5202



坂井 ひであき  
子供の笑顔のたえない  
街を目指して行動

- 副幹事長・議会運営委員会
- 区民福祉委員会 副委員長
- ひきこもり対策特別委員会

墨田区石原 3-16-1  
090-2654-5478



坂井 ユカコ  
区民目線の素直で  
確かな行動力で

- 副幹事長・議会運営委員会
- 地域産業都市委員会 副委員長
- 災害対策特別委員会

墨田区東駒形 2-2-4  
090-3617-4313

議員紹介

お気軽にご意見をお寄せください

墨田区自由民主党・令和



# 代表質問



墨田区議会議員  
**木内 清**

## 新型コロナウイルス感染症による財政への影響は

**問** 景気が大きく下振れすることも予想される中、区の基本的な財源となる区民税や財政調整交付金など、歳入の見通しを現時点でどう考えているのか。

**答** 今後、景気の悪化も予想され、企業収益の落ち込みも考えられることから、財政調整交付金の大幅な減少を想定している。リーマンショック時を上回る事態を想定する必要がありと考えている。厳しい財政状況が予想される中で、区民生活を守る事業を優先させ、事業の見直しを徹底しながら、いっそうの行財政改革と効率的・効果的な行財政運営を行うっていく。

## 補助金等について必要な区民への支援を

**問** 支援が必要な方の多くは、各種支援の申請手続きに慣れておらず、自分の業種が申請対象に該当しているかもわからない、といった状況も散見された。今後も新たな支援策が打ち出されていく中、制度の十分な周知について十分な取組みを。

**答** 新たに電話相談窓口「コロナなんでも相談室」を開設し、区民一人ひとりの状況を丁寧に向い、その方に適した支援策や窓口のご案内を行っている。今後も、国や都の支援策を適切に把握し、区の施策もあわせて、情報発信を強化するとともに、区民や事業者の皆様へ確実に支援が行き届くように努めていく。



墨田区議会議員  
**たきざわ正宜**

## 避難所開設マニュアルと避難のあり方について伺う

**問** ①昨年11月議会で、区長は地域防災活動拠点ごとの避難所開設マニュアルの整備を図ると述べた。その後の進捗状況を伺う。②感染症と自然災害との複合災害に備える避難所運営指針を早急に示すべきと考える。避難所が過密状態となり、感染症が広がる危険性を考えると、従来の避難方法を変えなければならない。わかりやすいガイドライン等を作り周知することが重要と考えるが区長の所見を伺う。

**答** ①現在、「水害時避難場所開設マニュアル」を作成している。このマニュアルをもとに検討し、拠点ごとの「水害時避難場所マニュアル」として完成させる予定である。②避難場所確保のため、協定を締結している民間事業者や指定管理者制度を導入している区施設の利用、避難場所の開設・運営方針を検討していく。有事の際の行動については、新型コロナウイルスの感染リスクも含め、一人ひとりがあらかじめ確認しておくことが必要であり、区ホームページ等を通じて適切に発信していく。

**問** 子どもたちに公正に個別最適化された学びを提供し、求められる能力の育成を実現するために、ICT活用はどのような効果があるのか伺う。

**答** ICT機器の活用は、学力の定着・向上とともに、家庭における自学学習の充実等に、大変有効なツールであると考えている。

# 一般質問

## アフターコロナを見据えた取組みを

**問** これから議論される、区後期基本計画においては、新型コロナウイルス対策（アフターコロナ）についても取り上げるべきではないか。

**答** アフターコロナを見据えた「新型コロナウイルス感染症政策パッケージ」を策定するので、区後期基本計画にも反映させていきたい。

## 児童・生徒の学習権の保障とオンライン授業等の実現を

**問** 3か月間授業が行えなかったことによる学習の遅れを取り戻して行かなければならない。①児童・生徒の学力の格差が生じないよう、少人数編成や、子どもの学習定着度に応じた対応等を可能とする教員加配等の人材確保も必要ではないか。また、②修学旅行や校外学習など、子どもたちが楽しみにしている学校行事があり、これらについては、できる限り実施していくよう、強く求める。③オンライン授業や家庭学習支援のため、小学校4年生の児童から中学校生徒に1人1台9月頃を目標にタブレット端末を配布する予定となっているが、学校での展開を伺う。

**答** ①時間講師の活用や、学校支援指導員の勤務期間の延長、スクールサポートスタッフの追加配置を進めるとともに、非常勤教員や再任用教員に補習等の指導に従事させる。②現在のところ、規模の縮小や、内容の変更も検討しながら、できる限り実施する方向で考える。③夏休みに向けて、まずは中学3年生を始め、桜堤中学校で使用している授業支援アプリ等を活用した家庭学習について全中学校での展開を進め、モデル校で経験を積んだ教員が、他校の教員に、直接ノウハウを伝える仕組みをつくり、スムーズな導入を目指していく。



墨田区議会議員  
**かんだすなお**

## 行政用語のカタカナ言葉多用について

**問** 行政用語にカタカナ言葉が多く、分かりにくいという声が多い。情報を伝達する言葉が分かりにくく、伝わらなければ意味がない。①カタカナ言葉が氾濫する現状について、どのように認識しているのか。②より分かりやすい情報発信のために、どのような方針で臨むのか。

**答** ①カタカナ言葉が日々増加しているが、丁寧な情報伝達の工夫が必要である。②一般的でないカタカナ言葉は適切な日本語に言い換え、説明を付け加えるなどの工夫をし、新しいカタカナ言葉は定着するまで安易に使わず、誰にでも分かりやすい正確な情報発信に努める。

## 「香書」について

**問** 化学物質による人工的な強い香りが原因となって、健康被害を訴える人が多い。「香書」と呼ばれるものである。医療機関では、「化学物質過敏症」と診断される。啓発活動が必要だと思っが、どう考えるか。

**答** 「香書」により影響を受ける方がいることは認識しており、健康被害を防ぐことは重要である。個別の健康被害相談に消費者センターと連携して対応するほか、他自治体の事例も参考にしながら、「香書」に関する情報の啓発に努める。

# 令和2年度常任委員会TOPICS

# 墨田区議会特別委員会

## 企画総務委員会

藤崎こうき 委員、沖山仁 委員長、しもむら緑 委員



## 子ども文教委員会

かんだすなお 委員、福田はるみ 委員、木内清 委員長、佐藤篤 委員



## 地域産業都市委員会

たきざわ正宜 委員、坂井ユカコ 副委員長、加藤拓 委員



## 区民福祉委員会

樋口敏郎 委員、坂井ひであき 副委員長、田中邦友 委員



## 災害対策特別委員会

加藤拓 委員、たきざわ正宜 副委員長、沖山仁 委員、坂井ユカコ 委員



## 町会・自治会振興特別委員会

佐藤篤 委員、藤崎こうき 委員、しもむら緑 委員、福田はるみ 委員長、木内清 委員



## ひきこもり対策特別委員会

坂井ひであき 委員、田中邦友 委員、樋口敏郎 委員、かんだすなお 委員



## 議会改革特別委員会

佐藤篤 委員、加藤拓 委員長、木内清 委員、たきざわ正宜 委員



### 職員の特殊勤務手当に関する条例

新型コロナウイルス感染症のリスクのある職務に従事する職員に対して、特殊勤務手当の支給額を1日上限160円から720円、検査等の業務に従事した場合上限3000円と定めました。会派としては、今後職員が士気を持って働くことができるよう、感染症に関する包括的な特殊勤務手当の制定を要望しました。

### 大学誘致の進捗状況

旧吾嬬三中・旧西吾嬬小跡地の一部に、「新しい生活様式」に対応した研究開発・社会連携施設「(仮称)すみだメディアラボ」の新設を行いたい旨の提案がありました。コロナ禍においても課題となっている「ICTの活用」に関して、最先端技術を小中学校、地域に還元することを条件とし、地域住民の声を反映させるように強く求めました。

### 新保健施設等複合施設整備の進捗状況

向島・本所両保健センターを統合して設置される新施設(横川5丁目)に、子育て支援総合センター・(仮称)教育支援センターも併設します。各施設間の動線の効率化や利用者の個人情報保護を考慮し、3階と4階部分の施設の交換設置等、設計変更の再考を求めました。また、利用者である不登校児童・生徒等の意見もよく聴くよう求め、だれでもトイレに、大人介護ベッドを設置するよう求めました。

### 中学校海外派遣事業の内容変更

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、海外派遣に代え、福島県の施設で8月に4泊5日で英語研修を行います。各中学校の英語教育に資するため、教員の研修参加を求めました。また、生徒たちの教育のため、例年通り、参加中学生の成果発表会の開催を求めました。

### 新型コロナウイルス感染症に関する観光施策について

東京五輪の延期や区内イベントの中止、訪日外国人観光客、99・9%減によって、区内事業者は大きな打撃を受けています。私たちからは、新しい生活様式や働き方の変化による昼間人口層の増加を見据え、今後は、現在行っている緊急支援策と同時に、外国人観光客に頼らない大胆な観光施策の転換を提案しました。

### 企業・商店の感染防止策・消費喚起策を提案

①商店の感染防止策として、最大10万円の費用を100%区負担で行う制度、②キャッシュレス決済を行った場合、30%還元(予算3億円規模)する制度が、私たちからの提案で実現します。企業・商店の皆様の感染防止策と企業・商店の売上向上、区民生活を守るための施策を全力で推進していく決意です。

### 特別定額給付金について

特別定額給付金(ひとり10万円)支給における取組みと達成状況を尋ね、まだ届かない区民に対して一日も早く支給されるように努力を強く求めました。同時に、本事業の検証をしっかりと行い、今後同様の取組みが生じた場合に備えるように求めました。

### 新型コロナウイルス感染症再拡大(第2波)に向けた取組み

新たに墨田区保健所では、PCR検査を必要とされる方に対して、鼻咽喉ぬぐい液及び唾液による検査を導入します。これにより、結果判明までの大幅な時間短縮(検体採取から半日ほど)が図られることが明確になりました。なお、PCR検査前の患者搬送についても、東京都より搬送専用車の貸与を受けることとなり、感染症対策のいっそうの充実が期待されます。